

奥出雲病院介護医療院（愛称：『虹の郷』）の概要

R4年1月

『虹の郷』の由来

虹の七色を当施設の利用者様に関わる七つの部門（医療・看護・介護・薬剤・検査・栄養・事務）にたとえ、それぞれがカラーを出し合いながら入所者の尊厳を保持しながら自立した生活が送れるためにそれぞれカラー出し合い協働しながら入所者を支えていきたいという思いを込めている。介護療養型病棟当時から命名。介護医療院へは、令和2年11月に移行された。

<理念>

入所者、利用者の尊厳を保持し、その方の能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように支援を行います。

毎日繰り返し丁寧に行われるケアこそ高齢者の尊厳の保持につながる。

<目標>

1. 入所者、利用者の意思・人権・人格を尊重し、入所者、利用者のそれぞれの立場に立ってサービスを提供いたします。
2. 安心・安全で、明るく家庭的な雰囲気療養環境となるように努めます。
3. 心身の拘束ゼロを目指し、入所者、利用者の自由を守ります。
4. 知識・技術の向上に努め、質の高い看護・介護を実践します。
5. ご家族や地域との結びつきを大切にしながら、サービス提供や施設運営をいたします。

<施設概要>

- ・ 入所者数：50床（短期入所に関しては空床運用） ※1月5日現在 32名利用
- ・ 入所者：平均年齢 87.3歳（最高齢：102歳）
平均介護度 4.0
- ・ スタッフ人員：27名 看護師 14名 うちケアマネージャー兼務 2名
介護職員（CW） 13名（うち介護福祉士6名）
- ・ 勤務体制：2交替制 夜勤は基本看護師1名+CW1名体制
- ・ 診療体制：基本的に7名の医師による主治医制

<特徴>

- ・ 2回/週の入浴（体調不良以外は原則入浴だが、スタッフの状況で変更あり）
- ・ 年4回のレクレーション行事（納涼祭、運動会、クリスマス会、おひな祭り）
- ・ 地域やボランティアの方々との交流（行事にあわせての参加等）
- ・ 原則食事は食堂（ダイルーム）で食べていただく。（車椅子・ベッド）
- ・ その方らしい生活やご家族とのつながりを大切にしている。
- ・ 身体拘束しない・・・安全を考えるあまり、高齢者虐待につながる